

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局(43) 国際公開日
2001年9月27日 (27.09.2001)

PCT

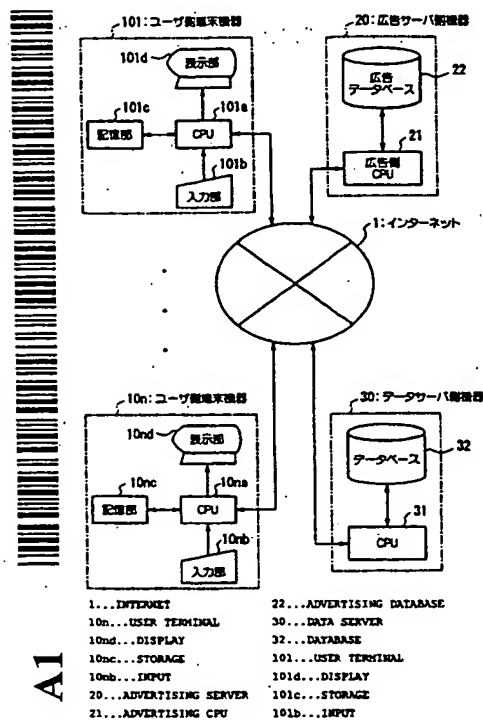
(10) 国際公開番号
WO 01/71591 A1

- (51) 国際特許分類: G06F 17/60 (71) 出願人 (米国を除く全ての指定国について): 株式会社 オプティム (OPTIM CORPORATION) [JP/JP]; 〒849-0916 佐賀県佐賀市高木瀬町東高木223-1 Saga (JP).
- (21) 国際出願番号: PCT/JP01/02318
- (22) 国際出願日: 2001年3月23日 (23.03.2001) (72) 発明者; および
- (25) 国際出願の言語: 日本語 (75) 発明者/出願人 (米国についてのみ): 菅谷俊二 (SUG-AYA, Syunji) [JP/JP]; 〒840-0023 佐賀県佐賀市本庄町大字袋143-6 Saga (JP).
- (26) 国際公開の言語: 日本語
- (30) 優先権データ: 特願2000-85164 2000年3月24日 (24.03.2000) JP (74) 代理人: 弁理士 志賀正武, 外 (SHIGA, Masatake et al.); 〒169-8925 東京都新宿区高田馬場三丁目23番3号 ORビル Tokyo (JP).

[続葉有]

(54) Title: ADVERTISING SYSTEM

(54) 発明の名称: 広告報知システム



(57) Abstract: An advertising system includes a network, a server (30) connected to the network, and a user device (101) used to send the user advertisements during a transfer of data to and from the server through the network (1). The system further includes a server (20) used to distribute the advertisements to the user side apparatus.

(57) 要約:

本発明は、ネットワーク（１）と、前記ネットワークに接続されたサーバ（３０）と、前記ネットワークを介して前記サーバとの間でデータを転送する時に広告をユーザに報知するユーザ側機器（１０１）と、からなることを特徴とする。また、前記広告を前記ユーザ側機器に配信するサーバ（２０）をさらに備える。

WO 01/71591 A1



(81) 指定国 (国内): AE, AG, AL, AM, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BR, BY, BZ, CA, CH, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DZ, EE, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, HR, HU, ID, IL, IN, IS, JP, KE, KG, KR, KZ, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LV, MA, MD, MG, MK, MN, MW, MX, MZ, NO, NZ, PL, PT, RO, RU, SD, SE, SG, SI, SK, SL, TJ, TM, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VN, YU, ZA, ZW.

(AT, BE, CH, CY, DE, DK, ES, FI, FR, GB, GR, IE, IT, LU, MC, NL, PT, SE, TR), OAPI 特許 (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GW, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

添付公開書類:

— 国際調査報告書

(84) 指定国 (広域): ARIPO 特許 (GH, GM, KE, LS, MW, MZ, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZW), ユーラシア特許 (AM, AZ, BY, KG, KZ, MD, RU, TJ, TM), ヨーロッパ特許

2文字コード及び他の略語については、定期発行される各PCTガゼットの巻頭に掲載されている「コードと略語のガイダンスノート」を参照。

明 細 書

広告報知システム

技術分野

本発明は、ネットワーク（例えば、インターネット）を利用するユーザに広告を行う広告報知システムに関し、特にユーザが目標データの配信を要求する際に広告を行うネットワークによる広告報知システムに関する。

背景技術

従来、インターネットによる広告報知システムは、バナー広告、電子メール広告、記事広告等のインターネット上の広告方法が存在する。

前記バナー広告を用いた従来のインターネットによる広告報知システムは、図5に示すようにウェブページの一部を広告専用のスペースとして予め確保し、このスペースに画像を掲載して行う構成である。このウェブページが、例えばインターネットのサーチエンジン等として機能するページである場合には、前記スペースに画像ファイルの一部が表示され、この表示をクリックすると関連データのインターネットにネットワーク接続され、この広告に関連する内容をインターネットを介して読出すことができることとなる。

このインターネットのページ上に広告を行う従来のインターネットによる広告報知システムとしては特願平10-102329号公報に開示されるものがあり、この従来のインターネットによる広告報知システムは、リクエストされたページをロードする間に見るようにパソコンの前にいるユーザに対して広告等を提供する。この広告等は、いかなる形態であってもよいが、1つの形態としては、アニメ式広告がある。アニメ式広告の場合は、広告自体を表示するのにかかる時間よりもはるかに短時間でダウンロードされ得る。こうして広告がダウンロードし終えた時点と放映し終わる時点の間にはネットワークが広告等の配信に使用されていないことから、このネットワークをリクエスト対象のページをダウンロードするのに使用することができることとなる。当然のことながらネットワークがリ

クエスト対象のページのソースに比べてはるかに高速である場合、このような遅延はさほど問題とならない。

また、インターネットを用いないパソコン上で広告を行う従来の広告方法を図6に基づいて説明する。同図において単一のパソコンでの広告方法は、ユーザがキーボード510を操作してCPU520の制御演算部521に所定の演算動作を実行させようとする場合に、この演算動作を実行するプログラムのソフトウェアを外部メモリ530から読出してCPU520の内部メモリ522にダウンロードし、このダウンロードの際に前記ソフトウェアと一体に格納されている広告が表示部540に表示されることにより行われる。

従来のインターネットによる広告報知システムは以上のように構成されていたことから、インターネットを介して目標データをユーザ側のパソコンにダウンロードする際に広告をパソコンの表示部に表示するものが存在せず、目標データのダウンロード時間を有効に活用できなかった。インターネットにネットワーク接続されたユーザを対象として広告を行う場合に、このユーザが本来求めているデータ又は商品（サービスも含む）に関する広告を提供することができないという課題を有する。特に、前記従来の各インターネットによる広告報知システムは、予め定められた広告内容を画一的に行っていたことから、ユーザがインターネットを介してデータの配信を要求する時点における各ユーザにアピールできる最適な広告を選択して実行できなかった。

発明の開示

本発明は、前記課題を解消するためになされたもので、ネットワークを介して配信される目標データのダウンロード時間を活用してユーザに特にアピールする広告を表示することができる広告報知システムを提供することを目的とする。

上記目的を達成するため、本発明のうち第1の発明は、ネットワーク(1)と、前記ネットワークに接続されたサーバ(30)と、前記ネットワークを介して前記サーバとの間でデータを転送する時に広告をユーザに報知するユーザ側機器(101)と、からなることを特徴とする。

本発明の第2の発明は、前記広告を前記ユーザ側機器に配信するサーバ（20）をさらに備えたことを特徴とする。

本発明の第3の発明は、前記ユーザ側機器は動画による前記広告を再生する動画広告再生部（ステップ15、26、40、56、66、86）を備えていることを特徴とする。

本発明の第4の発明は、前記ユーザ側機器のユーザに関する個人履歴情報を格納する個人履歴情報記憶部（22、又はステップ35、55C、65C）を備えたことを特徴とする。

本発明の第5の発明は、前記個人履歴情報に基づいて、複数の広告のうちユーザに報知する1つ又は複数の広告を選択する選択部（ステップ37）を備えたことを特徴とする。

本発明の第6の発明は、前記個人履歴情報は、ユーザが転送したデータの内容若しくは種類、ユーザに報知した広告、又はユーザの個人属性情報であることを特徴とする。

本発明の第7の発明は、前記ユーザ側機器の環境に基づいて、複数の広告のうちユーザに報知する1つ又は複数の広告を選択する選択部を備えたことを特徴とする。

本発明の第8の発明は、前記ユーザに広告の報知が完了した後、又はユーザが所定の設定を行ったとき、前記ユーザ側機器に転送されたデータを実行又は開くデータ処理部（ステップ17）を備えることを特徴とする。

本発明の第9の発明は、前記ユーザ側機器は前記ネットワークを介して前記サーバからデータをダウンロードする時に広告をユーザに報知することを特徴とする。

本発明の第10の発明は、前記ユーザ側機器は前記ネットワークを介して前記サーバからデータとこのデータを利用するために必要なソフトウェアをダウンロードすることを特徴とする。

本発明の第11の発明は、前記ユーザ側機器は前記ネットワークを介して前記サーバからデータをアップロードする時に広告をユーザに報知することを特徴とする。

本発明の第 12 の発明は、前記ネットワークを介して前記サーバと前記ユーザ側機器がデータを転送するとき、対話形式により前記ユーザに情報の入力を求める入力要求部（ステップ 34、55B、65B）と、前記入力要求部により入力された回答を格納する回答記憶部（広告側サーバのデータベース 22、又はステップ 35、55C、65C）と、をさらに備えたことを特徴とする。

本発明の第 13 の発明は、前記回答記憶部に格納された回答を閲覧するための回答閲覧部（広告側サーバの CPU 21）を備えたことを特徴とする。

本発明の第 14 の発明は、前記回答記憶部に格納された回答を検索するための検索部（広告側サーバの CPU 21）を備えたことを特徴とする。

本発明の第 15 の発明は、前記ネットワークを介して前記サーバとの間でデータを転送する時に前記ユーザに商品又は役務の販売を行う販売実行部（ステップ 45）を備えたことを特徴とする。

本発明の第 16 の発明は、前記ネットワークを介して前記サーバとの間でデータを転送する時に前記ユーザ側機器のウィルスのチェック、デフラグ、又は不要なファイルの削除を行う処理部（ステップ 76）を備えたことを特徴とする。

本発明の第 17 の発明は、前記ネットワークを介して前記ユーザ側機器と前記サーバとの間でデータを転送する時に、前記広告の報知状態に基づいて転送速度を調整する（ステップ 84、88）ことを特徴とする。

本発明の第 18 の発明は、前記広告の報知が完了するのと同様又はその後にはデータの転送が終了することを特徴とする。

すなわち、本発明に係るネットワークによる広告報知システムは、ネットワークを介してユーザが目標データの配信をデータサーバに要求した場合に、当該目標データがユーザ側へ配信される際又は当該配信される目標データがユーザの記憶手段にダウンロードされる際に広告サーバから提供される広告が前記ユーザ側へ配信され、当該配信された広告をユーザに報知するものである。

このように本発明においては、ユーザからの目標データの配信要求によりデータサーバが目標データをダウンロードする際に、広告サーバから広告がユーザの機器へ配信されてこの機器から広告がユーザに報知されることから、目標データのダウンロード時間を活用して広告を直接ユーザに報知できることとなる。

本発明に係るネットワークによる広告報知システムは必要に応じて、広告サーバから提供される広告が複数存在し、前記ユーザが配信を要求する目標データの内容、種類又はユーザの個人識別データ若しくはユーザの指定に基づいて前記複数の広告のうちの1つ又は複数を選択してユーザに報知するものである。

このように本発明においては、広告サーバが複数の広告を用意し、この複数の広告中からユーザにアピールできる最適な広告を選択して報知するようにしているので、ダウンロード時間を活用してより注目度の高い効果的な広告が可能となる。

本発明に係るネットワークによる広告報知システムは必要に応じて、ユーザが要求した目標データ及び／又は当該目標データが要求された際に報知した広告を当該ユーザの履歴情報として前記データサーバ又は広告サーバが記録するものである。

このように本発明においては、ユーザの過去に要求した目標データ、過去の報知された広告を、このユーザの履歴情報として記憶するようにしているので、新たにユーザが目標データの配信を要求した場合に、履歴情報に基づいてより適切な広告を選択して報知できることとなり、広告効果をより向上させることができる。

本発明に係るネットワークによる広告報知システムは必要に応じて、ユーザへの広告の報知を完了したことを条件として前記ユーザの記憶手段にダウンロードされた目標データを読み出すことができるものである。

このように本発明においては、ユーザによる目標データの読み出しを、ユーザへの広告の報知が完了したことを条件としていることから、ユーザの広告視聴率を向上させることができることとなり、広告効果を向上させることができる。

本発明に係るネットワークによる広告報知システムは必要に応じて、ユーザに報知される広告が1又は複数の設問からなる対話形式のステップから形成され、当該1又は複数の設問が完了したことを条件として前記ユーザの記憶手段にダウンロードされた目標データを読み出すことができるものである。このように本発明においては、目標データの配信要求の際に報知される広告が対話形式の複数ステップからなる設問で構成され、この設問の対話完了を条件として目標データの読

出しを行うようにしているので、ユーザに広告内容をより明確に認識させることができることとなり、広告効果を高めると共に、広告の商品・サービス等の知識を向上させることができる。

この設問形式の広告は、オープン懸賞付きのクイズ形式等とすることにより、ネットワークを介してこのクイズの答えを直接応募させることができる。

本発明に係るネットワークによる広告報知システムは必要に応じて、ユーザに対して広告を報知する際に当該広告に関連する商品又は役務の販売を実行するものである。このように本発明においては、ユーザに広告を報知する際に関連する商品・役務等の販売を実行するようにしたので、広告効果の向上と共に販売促進を図ることができる。

図面の簡単な説明

図 1 は、本発明の第 1 の実施形態に係る広告報知システムの全体概略構成図である。

図 2 は、図 1 に記載される広告報知システムの動作フローチャートである。

図 3 は、本発明の第 2 の実施形態に係る広告報知システムの動作フローチャートである。

図 4 は、本発明の第 3 の実施形態に係る広告報知システムの動作フローチャートである。

図 5 は、バナー広告を用いた従来のインターネットによる広告報知システムの表示図である。

図 6 は、インターネットを用いないパソコン上で広告を行う従来の広告実行ブロック図である。

図 7 は、本発明の第 5 の実施形態に係る広告報知システムの動作フローチャートである。

図 8 は、本発明の第 6 の実施形態に係る広告報知システムの動作フローチャートである。

図 9 は、本発明の第 7 の実施形態に係る情報報知システムの全体概略構成図で

ある。

図 10 は、本発明の第 7 の実施形態に係る情報報知システムの動作フローチャートである。

図 11 は、本発明のパケットスケジューリングによる制御を示すフローチャートである。

実施例

(本発明の第 1 の実施形態)

以下、本発明の第 1 の実施形態に係るネットワーク、例えばインターネットによる広告報知システムをその方法と共に図 1 及び図 2 に基づいて説明する。この図 1 は本実施形態に係るインターネットによる広告報知システムの全体概略構成図、図 2 は図 1 に記載されるインターネットによる広告報知システムの動作フローチャートを示す。

前記各図においてインターネットによる広告報知システムは、インターネット 1 にネットワーク接続される複数のユーザ側端末機器 101 ないし 10n と、前記インターネット 1 にネットワーク接続され、前記複数のユーザ側端末機器 101 ないし 10n に広告を配信する広告サーバ側機器 20 と、前記インターネット 1 にネットワーク接続され、前記複数のユーザ側端末機器 101 ないし 10n の配信要求に応じてユーザが要求するソフトウェア、各種データ等（以下、目標データ）を配信するデータサーバ側機器 30 とを備える構成である。

前記広告サーバ側機器 20 は、前記複数のユーザ側端末機器 101 ないし 10n から目標データの配信要求があった場合に広告表示動作に関連する各種処理を実行する広告側 CPU 21 と、広告主からの要求により各種の広告内容を広告ファイルとして格納し、前記ユーザの予め登録された個人情報に配信要求毎に新たな個人情報を追加して個人履歴情報とし、この個人履歴情報を履歴情報ファイルとして格納すると共に、広告表示動作に関連する各種処理を制御する CM ソフトウェア及びこの CM ソフトウェアにより実行される広告の CM ファイルを格納する記憶部 22 とを備える構成である。前記個人情報は、氏名、年齢、性別、住所、職業、家族構成等を任意に組合わせてなる個人の属性を示す個人属性情報、過去

の購買履歴情報、広告の閲覧履歴情報、広告の設問内容情報、設問に対する回答履歴情報等がある。この個人属性情報以外の情報については複数のユーザ側端末機器 101 ないし 10n からユーザが目標データの配信要求がなされる毎に、新たな各情報が書込まれた履歴情報としての広告データベースとなる。

次に、前記構成に基づくインターネットによる広告報知システムの広告表示動作について説明する。まず、ユーザ M1 がユーザ側端末機器 101 をインターネット 1 に接続し、このユーザ側端末機器 101 を操作してブラウザに基づく CPU 101a の制御により、目標データベースが表現されているホームページをデータサーバ側機器 30 に要求する（ステップ 11）。この要求によりデータサーバ側機器 30 はホームページを配信してユーザ側端末機器 101 の記憶部 101c にダウンロードする（ステップ 12）。

この記憶部 101c に格納されたホームページを表示部 101d に表示し、この表示されたホームページ中に表現されている目標データのリンクをクリックする（ステップ 13）。この目標データのリンクは広告サーバ側機器 20 のリンクとして機能する。

この広告サーバ側機器 20 へのリンクにより、この広告サーバ側機器 20 は CM ソフトウェアの起動が記述されているホームページを配信し、この CM ソフトウェアをユーザ側端末機器 101 にダウンロードする（ステップ 14）。このユーザ側端末機器 101 は、ダウンロードされた CM ソフトウェアに基づいて広告内容が記載される CM コンテンツとしての CM ファイルを記憶部 101c にダウンロードし、この CM ファイルを表示部 101d に表示させると共に、この CM ソフトウェアにより目標データをデータサーバ側機器 30 から記憶部 101c にダウンロードする（ステップ 15）。

前記表示部 101d での CM ファイルの表示が完了したか否かを判断し（ステップ 16）、表示が完了したと判断された場合には、記憶部 101c にダウンロードされた目標データを読み出して CPU 101a が実行または表示部 101d に表示させることとなる（ステップ 17）。

また、広告報知中にユーザが所定の操作を行った場合に、目標データを読み出して実行又は表示するようにしてもよい。例えば、ユーザがあらかじめダウンロ

ードした目標データをすぐに実行または表示するような設定をした場合に限り、目標データを実行または表示し、そのような設定をしていない場合は目標データはダウンロードされて格納されるだけで、実行はされないようにすることもできる。

(本発明の第2の実施形態)

本発明はの第2の実施形態に係るネットワーク、例えばインターネットによる広告報知システムをその方法と共に図3に基づいて図1を参照しながら説明する。この第2の実施形態に係るインターネットによる広告報知システムは、前記第1の実施形態に係るインターネットによる広告報知システムと同様なハードウェアの構成であり、広告表示に関連する動作を制御するホームページの内容及びCMソフトウェアの制御手順を異にする構成である。

まず、第1の実施形態ソフトウェアと同様に、目標データが表現されているホームページをユーザ側端末機器101からデータサーバ側機器30へ要求し（ステップ21）、このデータサーバ側機器30からユーザ側端末機器101の記憶部101cへダウンロードされる（ステップ22）。

このダウンロードされたホームページのうち目標データが表現されているホームページのリンクをクリックし（ステップ23）、データサーバ側機器30からCMソフトウェアの起動が記述されているホームページをダウンロードする（ステップ24）。このダウンロードされたホームページの配信要求により広告サーバ側機器20よりCMソフトウェアをダウンロードする（ステップ25）。

このユーザ側端末機器101は、ダウンロードされたCMソフトウェアに基づいて広告内容が記載されるCMコンテンツとしてのCMファイルを記憶部101cにダウンロードし、このCMファイルを表示部101dに表示させると共に、このCMソフトウェアにより目標データをデータサーバ側機器30から記憶部101cにダウンロードする（ステップ26）。

前記表示部101dでのCMファイルによる広告の表示が完了したか否かを判断し（ステップ27）、表示が完了したと判断された場合には、記憶部101cにダウンロードされた目標データを読み出してCPU101aが実行又は表示部1

０１ｄに表示させることとなる（ステップ２８）。

（本発明の第３の実施形態）

本発明はの第３の実施形態に係るネットワーク、例えばインターネットによる広告報知システムをその方法と共に図４に基づいて図１を参照しながら説明する。この第３の実施形態に係るインターネットによる広告報知システムは、前記第１の実施形態に係るインターネットによる広告報知システムと同様なハードウェアの構成であり、広告表示に関連する動作を制御するホームページの内容及びＣＭソフトウェアの制御手順を異にする構成である。

まず、前記第１の実施形態システムと同様にインターネット１にネットワーク接続されるユーザ側端末機器１０１からデータサーバ側機器３０に対して目標データが表現されているホームページを要求し、このホームページをユーザ側端末機器１０１の記憶部１０１ｃにダウンロードする（ステップ３１）。このダウンロードされたホームページを表示部１０１ｄに表示して目標データへのリンクをクリックし、広告サーバ側機器２０に対して目標データをダウンロードすることを要求する（ステップ３２）。

この広告サーバ側機器２０は、ユーザ側端末機器１０１に予め登録されて保存された前記個人属性情報（World Wide Web：WWWにおけるCookieに相当）又は新たに入力された個人属性情報が存在するか否かを判断する（ステップ３３）。この個人属性情報が存在しないと判断された場合には、広告サーバ側機器２０はユーザ側端末機器１０１へ個人属性情報およびパスワードを登録するためのホームページを配信する（ステップ３４）。このホームページにユーザが氏名、年齢、性別、住所、職業、家族構成等の個人属性情報およびパスワードを記入して登録すると、この登録された個人属性情報が広告サーバ側機器２０の記憶部２２に個人履歴情報として格納される（ステップ３５）。なお、この個人属性情報の登録が実行されると、この登録された個人属性情報が広告サーバ側機器２０から複数のユーザ側端末機器１０１ないし１０ｎのいずれかへ配信されてユーザ側端末機器１０１ないし１０ｎの対応する記憶部１０１ｃないし１０ｎｃに保存される。なお、登録すべき情報は個人属性情報のみであってもよい。

個人属性情報がユーザ側機器 101 ないし 10n に保存されているので、2 回目以降再度の個人属性情報の入力とは不要となる。したがって、ユーザが後述するステップ 46 で商品の購入を希望するときであっても、ユーザ側機器 101 に保存された個人属性情報に基づいてユーザを特定でき、購入に必要な個人情報を入力する手間を省くことができる。

また、ユーザ側機器 101 ないし 10n に保存された個人属性情報が消去されていた場合は、2 回目以降のアクセスではユーザはパスワードを入力すると、このパスワードが広告サーバ側機器 20 に送られ、認証が行われる。パスワードが正しい場合はステップ 36 に進む。したがって、ユーザが後述するステップ 46 で商品の購入を希望するとき、パスワードの入力のみによってユーザを認証でき、購入に必要な個人情報を入力する手間を省くことができる。

このように新たに個人属性情報が登録され、また個人属性情報が存在すると判断された場合には、この個人属性情報を検索キーとして広告サーバ側機器 20 の記憶部 22 に格納される履歴情報ファイルから、このユーザに関連する過去の購買履歴情報、広告の閲覧履歴情報、広告の設問内容情報、設問に対する回答履歴情報等の各種履歴情報が広告サーバ側機器 20 により抽出される（ステップ 36）。

この抽出された各種履歴情報に基づいて広告サーバ側機器 20 がこのユーザに提示して表示すべき広告の CM ファイルを記憶部 22 に格納された複数の CM ファイルから選択して決定する（ステップ 37）。CM ファイルは、ユーザ側端末機器の環境（例えば、インストールされているソフトウェア、ドライバの種類）に応じて選択する。また、CM ファイルはユーザの個人情報、例えばユーザの性別や年齢等に応じて選択する。また、ユーザが複数の CM ファイルの中から表示すべき一の CM ファイルを選択できるようにしてもよい。

また、この広告サーバ側機器 20 は、CM ファイル名及びこの CM ソフトウェアを起動させる指示が記述されたホームページとをユーザ側端末機器 101 へ配信してダウンロードする（ステップ 38）。さらに、広告サーバ側機器 20 から CM ソフトウェア及び CM ファイルをユーザ側端末機器 101 に配信してダウンロードする（ステップ 39）。なお、CM ソフトウェアがあらかじめユーザ側端

末機器 101 にインストールされており、ステップ 39 では CM ファイルのみをダウンロードしてもよい。

このユーザ側端末機器 101 は、配信されたホームページの起動指示によりダウンロードされた CM ソフトウェアの制御により CM ファイルを再生して表示部 101 d に表示させ、またデータサーバ側機器 30 から目標データが配信されてダウンロードされる（ステップ 40）。この CM ソフトウェアの再生表示で設問形式のユーザの応答又はユーザの操作態様を記録する（ステップ 41）。

なお、ステップ 40 において、目標データのダウンロード中に、CM ソフトウェアがユーザ側端末機器 101 のシステム構成を調査し、このシステム調査に基づいた CM ファイルを選択して、表示するようにしてもよい。また、ステップ 40 において目標データのダウンロード中に、CM ソフトウェアがユーザ側端末機器 101 にインストールされているソフトウェアのライセンスをチェックしてもよい。

ステップ 41 における設問形式とは、例えばユーザに対するアンケートであってもよい。一例として、CM ファイルによって再生される広告に関係する商品に関するアンケートであってもよい。アンケートに対する回答はユーザの応答又は操作態様として記録される。このように本広告システムをアンケート調査に利用することにより、マーケットリサーチ等を容易に行うことができるとともに、はがきによるアンケート調査よりも回答の回収及び集計を短時間かつ低コストで行うことができる。アンケートに対する回答はステップ 48 において広告サーバ側機器 20 に送信され、履歴ファイルとして記憶部 22 に格納される。

前記ステップ 40 におけるユーザの操作が CM ソフトウェアの再生表示中に中断の処理が発生したか否かを判断する（ステップ 42）。この中断処理が発生していないと判断された場合には、CM ソフトウェアで表示された商品又はサービスに対してユーザが購買要求が発生したか否かを判断し（ステップ 43）、購買要求が発生したと判断された場合には、この購買要求を広告サーバ側機器 20 に送信する（ステップ 44）。この送信された購買要求に基づいて広告サーバ側機器 20 は、登録し、購買に関する各種処理を実行する（ステップ 45）。

このようにユーザの個人属性情報が予め登録された状態で広告表示中における

購買動作を実行させることにより、ユーザは購買のために別途個人属性情報を入力する必要がなくなり簡易且つ確実な購買動作を実行できる。また、広告サーバ又は広告主側からは広告と同時に購買まで実行できるのでCM効果を直接判断できると共に販売促進が可能となる。

また、この購買において、目標データがCAD、CAM等のソフトウェアであった場合にこのソフトウェアで駆動するプリンタ等の機器の広告となり、このプリンタ等の機器が販売対象となる。また、目標データが音楽ソフトであった場合には、この音楽の歌手又は演奏者等のアーティストの講演が広告となり、この講演チケットが購買の対象となる。

この購買に関する各種処理が実行された後又はステップ42で購買要求が発生していないと判断された場合には、CMソフトウェアによるCMファイルの再生表示を引き続いて実行し、この表示動作が終了するとダウンロード終了を確認してCMソフトウェアの実行を終了する（ステップ46）。

前記ステップ42においてCMソフトウェアのによるCMファイル再生を表示中に中断の処理操作がなされたと判断された場合には、CMソフトウェアの制御動作に基づいてCPU101aが前記ダウンロードされた目標データ（又はダウンロード途中の目標データ）に対して予め設定された消去等の処理を実行する（ステップ47）。

前記ステップ46によるCMソフトウェアの終了又は前記ステップ47による目標データの処理をした後は、これまでのユーザが操作し、実行した内容を広告サーバ側機器20に送信し、この広告サーバ側機器20により履歴ファイルとして記憶部22に格納される。ユーザの操作内容の送信は目標データのダウンロード直後に行ってもよいし、一定時間経過後にCMソフトウェアにより送信してもよい。

なお、ステップ46において送信された情報にアンケートに対する回答が含まれていた場合には、広告サーバ側機器20が回答の集計を行う。

なお、広告主は広告サーバ側機器20にアクセスすることにより、個人属性情報を閲覧することができる。このとき、CMファイル、期間、個人属性情報（性別、年齢、職業等）の各項目によって検索して、必要な個人属性情報のみを閲覧

することができる。

履歴ファイルにアンケートに対するユーザの回答が含まれていた場合には、広告主は広告サーバ側機器20にアクセスすることにより、アンケート回答の集計結果を閲覧することができる。このとき、CMファイル、期間、個人属性情報（性別、年齢、職業等）の各項目によって検索して、必要な個人属性情報やアンケート回答のみを閲覧することができる。

（本発明の第4の実施形態）

なお、前記各実施形態に係るネットワーク、例えばインターネットによる広告報知システムにおいては、広告の報知を表示部に表示する構成としたが、前記広告の報知を音声又はプリントアウトにより行うこともできる。

また、前記各実施形態に係るインターネットによる広告報知システムにおいては、インターネットに複数のユーザ側端末機器101ないし10nがネットワーク接続されている場合について説明したが、インターネットから複数のユーザ側端末機器101ないし10nのネットワーク接続が解除された後に目標データを実行することもできる。この場合には目標データを実行又は再実行する際にCMファイルと一体で再生されて再生の都度にユーザに対して広告動作を実行することができる。

特に、CMソフトウェア（又はCMソフト）が複数のユーザ側端末機器101ないし10nにダウンロードされる際に複数のCMファイルが配信され、目標データを再実行する毎に複数のCMファイルを順次変更して再生させることもできる。また、この複数のCMファイルが総て再生された場合に、目標データの再実行を不能とすることもでき、また複数のCMファイルをサイクリック（又はランダム）に再び再生することもできる。このことはインターネットに複数のユーザ側端末機器101ないし10nがネットワーク接続されている場合についても同様である。

複数のCMファイルが総て再生された後は目標データの再実行を不能とした場合、ユーザが目標データの実行をするためには再度目標データの配信を要求しなければならない。そして、ユーザから目標データの配信要求が送られると、広告

サーバ機器からCMファイルのみがダウンロードされる。そして、目標データを再実行するとき、あとからダウンロードされたCMファイルが再生される。このとき複数のCMファイルをダウンロードして、順次変更して再生してもよいし、同じCMファイルを繰り返し再生してもよい。

また、ユーザが目標データをダウンロードした後、ネットワークへの接続を切断すると、アンケートへの回答や個人属性情報を広告サーバ側機器に送信できない場合もありうる。この場合は、次にネットワークに接続したときに、それらの情報を広告側機器20にアップロードしてもよい。

また、前記各実施形態に係るインターネットによる広告報知システムにおいては、履歴情報に基づいてCMファイルの選択を行う構成としたが、この履歴情報に基づいて将来の消費傾向を予測し、この予測したデータを広告主に提示し、販売促進の基礎データとすることもできる。

(本発明の第5の実施形態)

本発明の第5の実施形態に係るネットワーク、例えばインターネットによる広告報知システムをその方法と共に図7に基づいて図1を参照しながら説明する。この第5の実施形態に係るインターネットによる広告報知システムは、前記第1の実施形態に係るインターネットによる広告報知システムと同様なハードウェアの構成であるが、第1の実施形態がCMソフトウェアを広告サーバからダウンロードしていたが、この第5の実施形態では広告表示に関連する動作を制御するCMソフトウェアがあらかじめユーザ側端末機器101にインストールされている場合はCMソフトウェアのダウンロードをしない点が異なる。

まず、第1の実施形態ソフトウェアと同様に、目標データが表現されているホームページをユーザ側端末機器101からデータサーバ側機器30へ要求し（ステップ51）、このデータサーバ側機器30からユーザ側端末機器101の記憶部101cへダウンロードされる（ステップ52）。

このダウンロードされたホームページのうち目標データが表現されているホームページのリンクをクリックし（ステップ53）、データサーバ側機器30からCMソフトウェアの起動が記述されているホームページをダウンロードする（ス

テップ54)。

ここで、CMソフトウェアの起動の記述に基づいてCMソフトウェアがユーザ側端末機器101にインストールされているか否かが判断される(ステップ54A)。ここでCMソフトウェアがインストールされていない場合は、このダウンロードされたホームページの配信要求により広告サーバ側機器20又はデータサーバ側機器30よりCMソフトウェアをダウンロードする(ステップ55)。

一方、ステップ54Aにおいて、CMソフトウェアがインストールされている場合は、ステップ56に進む。すなわち、ユーザはCMソフトウェアをあらかじめ広告サーバ側機器20又は他のサーバからダウンロードし、ユーザ側端末機器101にインストールしてもよい。CMソフトウェアはCD-ROM等の他の記録媒体によって提供されるものであってもよい。

次に、広告サーバ側機器20は、ユーザ側端末機器101に予め登録されて保存された前記個人属性情報(World Wide Web: WWWにおけるCookieに相当)又は新たに入力された個人属性情報が存在するか否かを判断する(ステップ55A)。この個人属性情報が存在しないと判断された場合には、広告サーバ側機器20はユーザ側端末機器101へ個人属性情報を登録するためのホームページを配信する(ステップ55B)。

このホームページにユーザが個人属性情報およびパスワードを記入して登録すると、この登録された個人属性情報およびパスワードが広告サーバ側機器20の記憶部22に個人履歴情報として格納される(ステップ55C)。なお、この個人属性情報の登録が実行されると、この登録された個人属性情報が広告サーバ側機器20から複数のユーザ側端末機器101ないし10nのいずれかへ配信されてユーザ側端末機器101ないし10nの対応する記憶部101cないし10ncに保存される。

したがって、個人属性情報がユーザ側機器101ないし10nに保存されているので、2回目以降再度の入力は不要となる。なお、ユーザ側機器101ないし10nに保存された個人属性情報が消去されていた場合は、2回目以降のアクセスではユーザはパスワードを入力すると、このパスワードが広告サーバ側機器20に送られ、認証が行われる。パスワードが正しい場合はステップ56に進む。

次に、ユーザ側端末機器 101 は、CMソフトウェアに基づいて広告内容が記載されるCMコンテンツとしてのCMファイルを記憶部 101c にダウンロードし、このCMファイルを表示部 101d に表示させると共に、このCMソフトウェアにより目標データをデータサーバ側機器 30 から記憶部 101c にダウンロードする（ステップ56）。CMファイルの再生は目標データのダウンロード中に行われる。また、必要であれば、目標データと関連付けられたファイル、例えば目標データを利用するためのソフトウェアを併せてダウンロードする。具体的には、CMソフトウェアがユーザ側端末機器の環境を調査し、目標データの種類に応じて必要なソフトウェアを特定し、これを目標データとともにダウンロードする。

また、ステップ56において、目標データをダウンロードしている間に、CMソフトウェアはユーザ側端末機器 101 のウィルスチェックを行う。これによって、ウィルスチェックを自動的に行うことができ、ユーザ側機器をウィルスから保護することができる。なお、ウィルスチェックは必ずしも行わなくてもよい。また、ウィルスチェックの代わりに、又はウィルスチェックと併せてデフラグ又は／及び不要なファイルの削除を行ってもよい。

CMファイルに基づいて表示部 101d に表示される広告は静止画像でもよいが、動画や音声を利用したものであってもよい。動画及び音声による広告であればダウンロード中のユーザの注意をひきつけることができ、広告の浸透度を高めることができる。

前記表示部 101d でのCMファイルによる広告の表示が完了したか否かを判断し（ステップ57）、表示が完了したと判断された場合には、ユーザ側端末 101 はデータサーバ側機器 30 のホームページにアクセスする（ステップ58）。

このように、第5の実施形態では、CMソフトウェアがユーザ側端末機器 101 にインストールされている場合は、CMソフトウェアのダウンロードが行われないため、ダウンロードに要する時間を短縮することができる。

なお、ステップ57において広告の表示が終了した場合に、記憶部 101c にダウンロードされた目標データを読み出してCPU 101a が実行又は表示部 101d に表示させてもよい。

また、CMファイルはあらかじめユーザ側端末機器に格納されており、目標データのダウンロードが開始されると、このCMファイルを再生してもよい。CMファイルを前もってユーザ側端末機器に格納しておくことにより、ダウンロード時間を短縮することができる。

また、本実施の形態では単一の目標データをダウンロードしたが、複数の目標データをダウンロードしてもよい。

また、CMファイルの再生が終了する前に目標データのダウンロードが先に完了した場合、CMファイルの再生が終了するまでの残り時間を利用して、別のデータをダウンロードしてもよい。

具体的には、CMファイルの再生中に、目標データのダウンロードが終了した旨をユーザ側機器で表示し、ユーザに他のファイルのダウンロードが可能であることを報知する。ユーザは広告表示の残り時間を利用して、プログラムのアップグレードファイルやトライアル版をダウンロードすることもできる。

また、目標データのダウンロード中にCMファイルの再生だけではなく、ユーザが設定した動作、例えばメールの並び替え、時刻の再設定等の動作を行ってもよい。これによって、目標データのダウンロード時間を有効に活用することができる。

(本発明の第6の実施形態)

本発明の第6の実施形態に係るネットワーク、例えばインターネットによる広告報知システムをその方法と共に図8に基づいて図1を参照しながら説明する。この第6の実施形態に係るインターネットによる広告報知システムは、前記第5の実施形態に係るインターネットによる広告報知システムと同様なハードウェアの構成であり、またその方法はステップ61からステップ68までほぼ第5の実施形態と同様である。ただし、第6の実施形態は、ステップ66において高速ダウンロードおよびパケットスケジューリングによる制御を行っている点が異なる。

ステップ66において、ユーザ側端末機器101は、CMソフトウェアに基づいて広告内容が記載されるCMコンテンツとしてのCMファイルを記憶部101cに高速ダウンロードし、このCMファイルを表示部101dに表示させると共

に、このCMソフトウェアにより目標データをデータサーバ側機器30から記憶部101cに高速ダウンロードする。また、パケットスケジューリングによる制御により、ダウンロードに要する時間とCMファイルの再生時間を調整する（ステップ66）。

パケットスケジューリングによる制御とは、複数のファイルのダウンロード速度を特定の目的を達するように調整することをいい、本発明ではCMファイルの再生状況に合わせてCMファイル及び目標データのダウンロード速度を最適に制御することをいう。より具体的には、CMファイルを再生しながら目標データのダウンロードを行うとき、CMファイルの再生を中断しないようにするとともに、CMファイルの再生が終了すると同時又はその後に目標データのダウンロードが終了するように、ダウンロード速度を調整する。

図11に本発明によるパケットスケジューリング制御のフローを示す。

図11に示すように、まずCMソフトウェアは現在の通信回線のデータ転送速度、例えば最高速度、最低速度、平均速度等を求める（ステップ81）。次に、CMソフトウェアは目標データのファイルサイズを取得し（ステップ82）、さらにCMファイルのファイルサイズを取得する（ステップ83）。

次に、取得した通信回線の転送速度、目標データのファイルサイズ、およびCMファイルのファイルサイズに基づいて、CMファイルの再生およびダウンロードのスケジューリングを行う。具体的には、CMファイルのファイルサイズからこのCMファイルを最後まで再生するのに必要な時間を算出し、この必要な再生時間に基づいてダウンロード速度を決定する（ステップ84）。

次に、ステップ84で決定されたCMファイルに割り当てられたダウンロード速度でCMファイルのダウンロードを開始し（ステップ85）、さらにこのCMファイルの再生を開始する（ステップ86）。なお、本実施の形態では、CMファイルをダウンロードしながら再生しているが、CMファイルのダウンロードが完了した後に、CMファイルの再生を行ってもよい。

また、ステップ84で決定された目標データに割り当てられたダウンロード速度で目標データのダウンロードを開始する（ステップ87）。

そして、CMソフトウェアはダウンロードを行いながら、目標データおよびC

Mファイルのダウンロード速度を調整する（ステップ88）。これによって、CMファイルの再生を中断しないようにするとともに、CMファイルの再生が終了すると同時又はその後に目標データのダウンロードが終了するように調整される。

そして、CMファイルの再生が終了するのと同時またはその後に目標データのダウンロードが終了する（ステップ89）。

このように、パケットスケジューリングによる制御を行うことにより、CMファイルの再生を最後まで行うことができ、広告が途中で終了することがない。結果として、ユーザは広告を最後まで視聴することになる。したがって、広告を完全な形でユーザに提供することができ、ユーザに対する広告効果を高めることができる。

また、ユーザに広告を最後まで表示させるための手段として、パケットスケジューリング制御に代えて、次のような方法を採用してもよい。

まず、ユーザ側端末機器は目標データをダウンロードを開始するとともに、CMファイルの再生を開始する。このとき、目標データであるファイルの最後の部分（例えば、1バイト）はダウンロードされない。したがって、CMファイルの再生が終了する前にダウンロードが完了した場合であっても、ダウンロードされた目標データは不完全であり、このデータを開いたり又は実行することはできない。

そして、CMファイルの再生が終了すると、ユーザ側端末機器は目標データであるファイルの最後の部分が格納されているURLを受信する。そして、ユーザ側端末機器はこのURLにアクセスし、ダウンロードされなかったファイルの最後の部分をダウンロードし、そして先にダウンロードされたデータと結合する。これで、目標データが完全なものとなり、この目標データを実行することができる。

一方、CMファイルの再生がユーザによって又は他の理由により中断されると、ダウンロードされた目標データは不完全なままであり、且つファイルの最後の部分が格納されているURLも送られてこない。したがって、ユーザは目標データを実行することはできない。

すなわち、ユーザ側機器でCMファイルが最後まで再生された場合に限り、ユ

ユーザは完全な目標データを入手することができる。したがって、ユーザは広告を最後まで視聴することになる。このように、広告を完全な形でユーザに表示することができ、広告効果を高めることができる。

(本発明の第7の実施形態)

本発明の第7の実施形態に係るネットワークによる情報報知システムについて説明する。

この情報報知システムは、例えば、社内ネットワークシステムに適用され、社内情報を社員に告知するために使用される。また、教育に有益な教材をユーザに報知するために使用される。社内情報や教育教材に限られず、広く必要な情報をユーザに提供するために使用される。

図9においてインターネットによる情報報知システムは、ネットワーク201に接続される複数のユーザ側端末機器201ないし210nと、前記ネットワーク201にネットワーク接続され、前記複数のユーザ側端末機器201ないし210nに広告を配信する情報提供サーバ側機器220と、前記ネットワーク201に接続され、前記複数のユーザ側端末機器201ないし210nの配信要求に応じてユーザが要求するソフトウェア、各種データ等（以下、目標データ）を配信するデータサーバ側機器230とを備える構成である。

前記情報提供側機器220は、前記複数のユーザ側端末機器201ないし210nから目標データの配信要求があった場合に情報表示動作に関連する各種処理を実行する情報提供側CPU221と、情報提供主からの要求により各種の情報を情報ファイルとして格納し、前記ユーザの予め登録された個人情報に配信要求毎に新たな個人情報を追加して個人履歴情報とし、この個人履歴情報を履歴情報ファイルとして格納すると共に、提供情報表示動作に関連する各種処理を制御する情報表示ソフトウェア及びこの情報表示ソフトウェアにより実行される情報ファイルを格納するデータベース222とを備える構成である。前記個人情報は、氏名、年齢、性別、住所、職業、家族構成等を任意に組合わせてなる個人の属性を示す個人属性情報、過去の購買履歴情報、広告の閲覧履歴情報、設問内容情報、設問に対する回答履歴情報等がある。この個人属性情報以外の情報につい

ては複数のユーザ側端末機器 201 ないし 210_n からユーザが目標データの配信要求がなされる毎に、新たな各情報が書込まれた履歴情報としてのデータベースとなる。

次に、この情報報知システムの動作について図 10 を参照しながら説明する。

まず、目標データが表現されているホームページをユーザ側端末機器 101 からデータサーバ側機器 230 へ要求し（ステップ 71）、このデータサーバ側機器 230 からユーザ側端末機器 201 の記憶部 201c へダウンロードされる（ステップ 72）。

このダウンロードされたホームページのうち目標データが表現されているホームページのリンクをクリックし（ステップ 73）、データサーバ側機器 230 から情報表示ソフトウェアの起動が記述されているホームページをダウンロードする（ステップ 74）。

ここで、情報表示ソフトウェアの起動の記述に基づいて情報表示ソフトウェアがユーザ側端末機器 201 にインストールされているか否かが判断される（ステップ 74A）。ここで情報表示ソフトウェアがインストールされていない場合は、このダウンロードされたホームページの配信要求により情報提供サーバ側機器 220 又はデータサーバ側機器 230 より情報表示ソフトウェアをダウンロードする（ステップ 75）。

一方、ステップ 74A において、情報表示ソフトウェアがインストールされている場合は、ステップ 76 に進む。すなわち、ユーザは情報表示ソフトウェアをあらかじめ情報提供サーバ側機器 220 又は他のサーバからダウンロードし、ユーザ側端末機器 201 にインストールしてもよい。情報表示ソフトウェアは CD-ROM 等の他の記録媒体によって提供されるものであってもよい。

次に、情報提供サーバ側機器 220 は、ユーザ側端末機器 201 に予め登録されて保存された前記個人属性情報（World Wide Web : WWW における Cookie に相当）又は新たに入力された個人属性情報が存在するか否かを判断する（ステップ 75A）。この個人属性情報が存在しないと判断された場合には、情報提供サーバ側機器 220 はユーザ側端末機器 201 へ個人属性情報を登録するためのホームページを配信する（ステップ 75B）。

このホームページにユーザが個人属性情報およびパスワードを記入して登録すると、この登録された個人属性情報およびパスワードが情報提供サーバ側機器 220 の記憶部 222 に個人履歴情報として格納される（ステップ 75C）。なお、この個人属性情報の登録が実行されると、この登録された個人属性情報が情報提供サーバ側機器 220 から複数のユーザ側端末機器 201 ないし 210n のいずれかへ配信されてユーザ側端末機器 201 ないし 210n の対応する記憶部 201c ないし 210nc に保存される。

したがって、個人属性情報がユーザ側機器 201 ないし 210n に保存されているので、2 回目以降再度の入力は不要となる。なお、ユーザ側機器 201 ないし 210n に保存された個人属性情報が消去されていた場合は、2 回目以降のアクセスではユーザはパスワードを入力すると、このパスワードが情報提供サーバ側機器 220 に送られ、認証が行われる。パスワードが正しい場合はステップ 76 に進む。

次に、ユーザ側端末機器 201 は、情報表示ソフトウェアに基づいて提供される情報コンテンツとしての情報ファイルを記憶部 201c にダウンロードし、この情報ファイルを表示部 201d に表示させると共に、この情報表示ソフトウェアにより目標データをデータサーバ側機器 230 から記憶部 201c にダウンロードする（ステップ 76）。情報ファイルの再生は目標データのダウンロード中に行われる。データの転送は第 6 の実施形態で利用された高速ダウンロードにより行われる。また、情報表示ソフトウェアは第 6 の実施形態で使用したパケットスケジューリングによる制御も行う。

また、ステップ 76 において、目標データをダウンロードしている間に、情報表示ソフトウェアはユーザ側端末機器 201 のウィルスチェックを行う。これによって、ウィルスチェックを自動的に行うことができ、社内ネットワークをウィルスから保護することができる。なお、ウィルスチェックは必ずしも行わなくてもよい。また、ウィルスチェックの代わりに、又はウィルスチェックと併せて、デフラグ又は／及び不要なファイルの削除を行ってもよい。

情報ファイルに基づいて表示部 201d に表示される広告は静止画像でもよいが、動画や音声を利用したものであってもよい。

前記表示部 201d での情報ファイルによる広告の表示が完了したか否かを判断し（ステップ 77）、表示が完了したと判断された場合には、ユーザ側端末 201 はデータサーバ側機器 230 のホームページにアクセスする（ステップ 78）。

なお、ステップ 77 において広告の表示が終了した場合に、記憶部 201c にダウンロードされた目標データを読み出して CPU 201a が実行又は表示部 201d に表示させてもよい。

なお、上述した実施形態のうちインターネット 1 を利用しているものがあるが、これに限られず、ネットワークであれば例えば LAN（ローカルエリアネットワーク）やイントラネットも含む。また、専用のサーバを使うことなく、接続されたコンピュータ同士がコミュニケーションするピアツーピア型接続のネットワークも含む。また、ユーザ側端末機器、広告サーバ側機器、情報提供サーバ側機器、データサーバ側機器の接続の一部又は全部を USB、Bluetooth、シリアル接続、ワイヤレス接続等の手段で提供してもよい。

また、上述した実施形態において、データサーバや広告サーバ以外の他の提携サイト、例えば検索エンジンを備えたサイトにリンクを張っておき、この提携サイトのリンクをクリックすることにより、ユーザがデータサーバや広告サーバにアクセスし、広告報知の動作を行ってよい。なお、このとき表示する広告は提携サイトに関するものであってもよい。

また、前記広告報知システムおよび情報報知システムはダウンロード中に CM ファイル又は情報ファイルを再生するが、データをアップロード中に CM ファイル又は情報ファイルを再生するものであってもよい。すなわち、ダウンロードであるかアップロードであるかに関係なく、データ転送時に CM ファイルを再生するものを含む。さらに、データの転送はユーザ側機器の動画再生表示時に表示を優先しデータ量を落して転送するストリーミング方式のデータ転送を含む。またデータの転送は、大量のデータ転送時に一回の表示等所要量に分割して転送するように送信側で一時的にデータのバッファリングをするものを含む。

また、ユーザ側端末機器、広告サーバ側機器、情報提供サーバ側端末、データサーバ側機器はパーソナルコンピュータ、携帯電話、PDA、販売店に設置され

たネットワーク端末、ネットワークに接続された家庭電化製品、カーナビゲーション等を含む。

産業上の利用可能性

本発明においては、ユーザからの目標データの配信要求によりデータサーバが目標データをダウンロードする際に、広告サーバから広告がユーザの機器へ配信されてこの機器から広告がユーザに報知されることから、目標データのダウンロード時間を活用して広告を直接ユーザに報知できるという効果を奏する。

また、本発明においては、広告サーバが複数の広告を用意し、この複数の広告の中からユーザにアピールできる最適な広告を選択して報知するようにしているので、ダウンロード時間を活用してより注目度の高い効果的な広告が可能となるという効果を有する。

また、本発明においては、ユーザの過去に要求した目標データ、過去の報知された広告を、このユーザの履歴情報として記憶するようにしているので、新たにユーザが目標データの配信を要求した場合に、履歴情報に基づいてより適切な広告を選択して報知できることとなり、広告効果をより向上させることができるという効果を有する。

また、本発明においては、ユーザによる目標データの読出しを、ユーザへの広告の報知が完了したことを条件としていることから、ユーザの広告視聴率を向上させることができることとなり、広告効果を向上させることができるという効果を有する。

また、本発明においては、目標データの配信要求の際に報知される広告が対話形式の複数ステップからなる設問で構成され、この設問の対話完了を条件として目標データの読出しを行うようにしているので、ユーザに広告内容をより明確に認識させることができることとなり、広告効果を高めると共に、広告の商品・サービス等の知識を向上させることができるという効果を有する。

この設問形式の広告は、オープン懸賞付きのクイズ形式等とすることにより、インターネットを介してこのクイズの答えを直接応募させることができる。

また、本発明においては、ユーザに広告を報知する際に関連する商品・役務等の販売を実行するようにしたので、広告効果の向上と共に販売促進を図ることができるという効果を有する。

請求の範囲

1. 広告報知システムであって、
ネットワークと、
前記ネットワークに接続されたサーバと、
前記ネットワークを介して前記サーバとの間でデータを転送する時に広告をユーザに報知するユーザ側機器と、
からなることを特徴とする広告報知システム。
2. 請求項 1 に記載した広告報知システムであって、
前記広告を前記ユーザ側機器に配信するサーバをさらに備えたことを特徴とする広告報知システム。
3. 請求項 1 に記載した広告報知システムであって、
前記ユーザ側機器は動画による前記広告を再生する動画広告再生部を備えていることを特徴とする広告報知システム。
4. 請求項 1 に記載した広告報知システムであって、
前記ユーザ側機器のユーザに関する個人履歴情報を格納する個人履歴情報記憶部を備えたことを特徴とする広告報知システム。
5. 請求項 1 に記載した広告報知システムであって、
前記個人履歴情報に基づいて、複数の広告のうちユーザに報知する 1 つ又は複数の広告を選択する選択部を備えたことを特徴とする広告報知システム。
6. 請求項 4 に記載した広告報知システムであって、
前記個人履歴情報は、ユーザが転送したデータの内容若しくは種類、ユーザに報知した広告、又はユーザの個人属性情報であることを特徴とする広告報知システム。

7. 請求項 1 に記載した広告報知システムであって、

前記ユーザ側機器の環境に基づいて、複数の広告のうちユーザに報知する 1 つ又は複数の広告を選択する選択部を備えたことを特徴とする広告報知システム。

8. 請求項 1 に記載した広告報知システムであって、

前記ユーザに広告の報知が完了した後、又はユーザが広告報知中に所定の動作を行ったとき、前記ユーザ側機器に転送されたデータを実行又は開くデータ処理部を備えることを特徴とする広告報知システム。

9. 請求項 1 に記載した広告報知システムであって、

前記ユーザ側機器は前記ネットワークを介して前記サーバからデータをダウンロードする時に広告をユーザに報知することを特徴とする広告報知システム。

10. 請求項 9 に記載した広告報知システムであって、

前記ユーザ側機器は前記ネットワークを介して前記サーバからデータとこのデータを利用するために必要なソフトウェアをダウンロードすることを特徴とする広告報知システム。

11. 請求項 1 に記載した広告報知システムであって、

前記ユーザ側機器は前記ネットワークを介して前記サーバからデータをアップロードする時に広告をユーザに報知することを特徴とする広告報知システム。

12. 請求項 1 に記載した広告報知システムであって、

前記ネットワークを介して前記サーバと前記ユーザ側機器がデータを転送するとき、対話形式により前記ユーザに情報の入力を求める入力要求部と、

前記入力要求部により入力された回答を格納する回答記憶部と、
をさらに備えたことを特徴とする広告報知システム。

13. 請求項12に記載した広告報知システムであって、

前記回答記憶部に格納された回答を閲覧するための回答閲覧部を備えたことを特徴とする広告報知システム。

14. 請求項12に記載した広告報知システムであって、

前記回答記憶部に格納された回答を検索するための検索部を備えたことを特徴とする広告報知システム。

15. 請求項1に記載した広告報知システムであって、

前記ネットワークを介して前記サーバとの間でデータを転送する時に前記ユーザに商品又は役務の販売を行う販売実行部を備えたことを特徴とする広告報知システム。

16. 請求項1に記載した広告報知システムであって、

前記ネットワークを介して前記サーバとの間でデータを転送する時に前記ユーザ側機器のウィルスチェック、デフラグ、又は不要なファイルの削除を行う処理部を備えたことを特徴とする広告報知システム。

17. 請求項1に記載した広告報知システムであって、

前記ネットワークを介して前記ユーザ側機器と前記サーバとの間でデータを転送する時に、前記広告の報知状態に基づいて転送速度を調整することを特徴とする広告報知システム。

18. 請求項17に記載した広告報知システムであって、

前記広告の報知が完了するのと同様又はその後にデータの転送が終了することを特徴とする広告報知システム。

19. 広告を報知するためのプログラムであって、

ネットワークを介してサーバとの間でデータを転送する工程と、

前記データ転送時にユーザ側機器に広告をユーザに報知させる工程とコンピュータに実行させるためのプログラム。

20. 請求項19に記載したプログラムであって、

前記広告を前記ユーザ側機器に配信する工程を実行させるためのプログラム。

21. 請求項19に記載したプログラムであって、

前記ユーザ側機器は動画による前記広告を再生する動画広告再生部を備えていることを特徴とする広告報知システム。

22. 請求項19に記載したプログラムであって、

前記ユーザ側機器のユーザに関する個人履歴情報を格納する工程を実行させるためのプログラム。

23. 請求項19に記載したプログラムであって、

前記個人履歴情報に基づいて、複数の広告のうちユーザに報知する1つ又は複数の広告を選択する工程を実行させるためのプログラム。

24. 請求項23に記載したプログラムであって、

前記個人履歴情報は、ユーザが転送したデータの内容若しくは種類、ユーザに報知した広告、又はユーザの個人属性情報であることを特徴とするプログラム。

25. 請求項19に記載したプログラムであって、

前記ユーザ側機器の環境に基づいて、複数の広告のうちユーザに報知する1つ又は複数の広告を選択する工程を備えたことを特徴とするプログラム。

26. 請求項19に記載したプログラムであって、

前記ユーザに広告の報知が完了した後、又はユーザが広告報知中に所定の動作を行ったとき、前記ユーザ側機器に転送されたデータを実行又は開く工程を実行

させるためのプログラム。

27. 請求項19に記載したプログラムであって、

前記ユーザ側機器は前記ネットワークを介して前記サーバからデータをダウンロードする時に広告をユーザに報知する工程を実行させるためのプログラム。

28. 請求項27に記載したプログラムであって、

前記ユーザ側機器は前記ネットワークを介して前記サーバからデータとこのデータを利用するために必要なソフトウェアをダウンロードすることを特徴とするプログラム。

29. 請求項19に記載したプログラムであって、

前記ユーザ側機器は前記ネットワークを介して前記サーバからデータをアップロードする時に広告をユーザに報知する工程を実行させるためのプログラム。

30. 請求項19に記載したプログラムであって、

前記ネットワークを介して前記サーバと前記ユーザ側機器がデータを転送するとき、対話形式により前記ユーザに情報の入力を求める工程と、

前記入力要求部により入力された回答を格納する工程と
を実行させるためのプログラム。

31. 請求項30に記載したプログラムであって、

前記回答記憶部に格納された回答を閲覧する工程を実行させるためのプログラム。

32. 請求項30に記載したプログラムであって、

前記回答記憶部に格納された回答を検索する工程を実行させるためのプログラム。

33. 請求項19に記載したプログラムであって、

前記ネットワークを介して前記サーバとの間でデータを転送する時に前記ユーザに商品又は役務の販売を行う工程を実行させるためのプログラム。

34. 請求項19に記載したプログラムであって、

前記ネットワークを介して前記サーバとの間でデータを転送する時に前記ユーザ側機器のウィルスのチェック、デフラグ、又は不要なファイルの削除を行う工程を実行させるためのプログラム。

35. 請求項19に記載したプログラムであって、

前記ネットワークを介して前記ユーザ側機器と前記サーバとの間でデータを転送する時に、前記広告の報知状態に基づいて転送速度を調整する工程を実行させるためのプログラム。

36. 請求項35に記載したプログラムであって、

前記広告の報知が完了するのと同様又はその後にはデータの転送が終了する工程を実行させるためのプログラム。

37. 広告を報知するための方法であって、

ネットワークを介してサーバとの間でデータを転送する工程と、

前記データ転送時にユーザ側機器に広告をユーザに報知させる工程とからなる方法。

38. 請求項37に記載した方法であって、

前記広告を前記ユーザ側機器に配信する工程を含む方法。

39. 請求項37に記載した方法であって、

前記ユーザ側機器は動画による前記広告を再生する工程を含む方法。

40. 請求項37に記載した方法であって、

前記ユーザ側機器のユーザに関する個人履歴情報を格納する工程を含む方法。

41. 請求項37に記載した方法であって、

前記個人履歴情報に基づいて、複数の広告のうちユーザに報知する1つ又は複数の広告を選択する工程を含む方法。

42. 請求項41に記載した方法であって、

前記個人履歴情報は、ユーザが転送したデータの内容若しくは種類、ユーザに報知した広告、又はユーザの個人属性情報であることを特徴とする方法。

43. 請求項37に記載した方法であって、

前記ユーザ側機器の環境に基づいて、複数の広告のうちユーザに報知する1つ又は複数の広告を選択する工程を含む方法。

44. 請求項37に記載した方法であって、

前記ユーザに広告の報知が完了した後、又はユーザが広告報知中に所定の動作を行ったとき、前記ユーザ側機器に転送されたデータを実行又は開く工程を含む方法。

45. 請求項37に記載した方法であって、

前記ユーザ側機器は前記ネットワークを介して前記サーバからデータをダウンロードする時に広告をユーザに報知する工程を含む方法。

46. 請求項45に記載した方法であって、

前記ユーザ側機器は前記ネットワークを介して前記サーバからデータとこのデータを利用するために必要なソフトウェアをダウンロードする工程を含む方法。

47. 請求項37に記載した方法であって、

前記ユーザ側機器は前記ネットワークを介して前記サーバからデータをアップロードする時に広告をユーザに報知する工程を含む方法。

48. 請求項37に記載した方法であって、

前記ネットワークを介して前記サーバと前記ユーザ側機器がデータを転送するとき、対話形式により前記ユーザに情報の入力を求める工程と、

前記入力要求部により入力された回答を格納する工程とを含む方法。

49. 請求項48に記載した方法であって、

前記回答記憶部に格納された回答を閲覧する工程を含む方法。

50. 請求項48に記載した方法であって、

前記回答記憶部に格納された回答を検索する工程を含む方法。

51. 請求項37に記載した方法であって、

前記ネットワークを介して前記サーバとの間でデータを転送する時に前記ユーザに商品又は役務の販売を行う工程を含む方法。

52. 請求項37に記載した方法であって、

前記ネットワークを介して前記サーバとの間でデータを転送する時に前記ユーザ側機器のウィルスのチェック、デフラグ、又は不要なファイルの削除を行う工程を含む方法。

53. 請求項37に記載した方法であって、

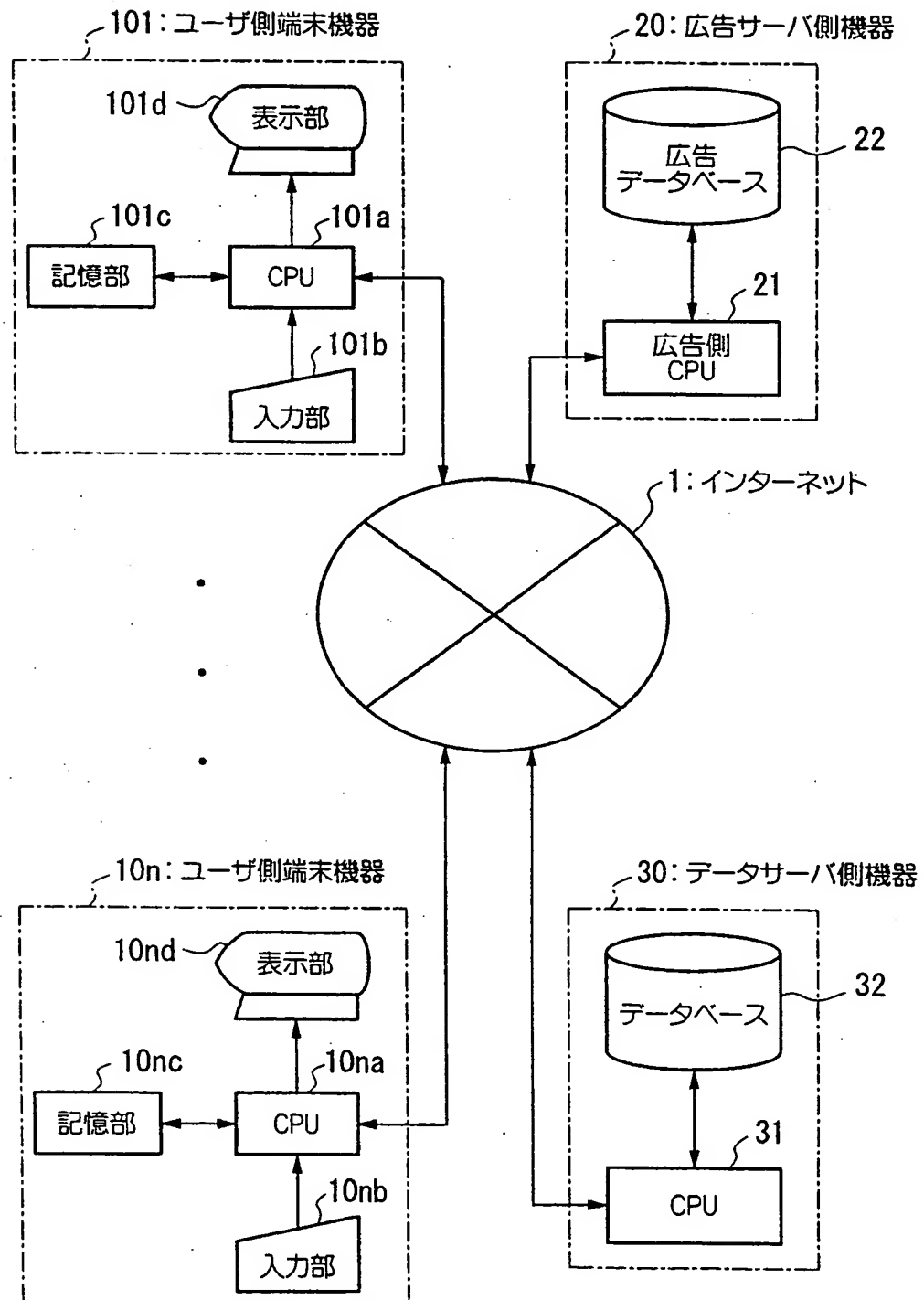
前記ネットワークを介して前記ユーザ側機器と前記サーバとの間でデータを転送する時に、前記広告の報知状態に基づいて転送速度を調整する工程を含む方法。

54. 請求項53に記載した方法であって、

前記広告の報知が完了するのと同様又はその後にデータの転送が終了する工程を含む方法。

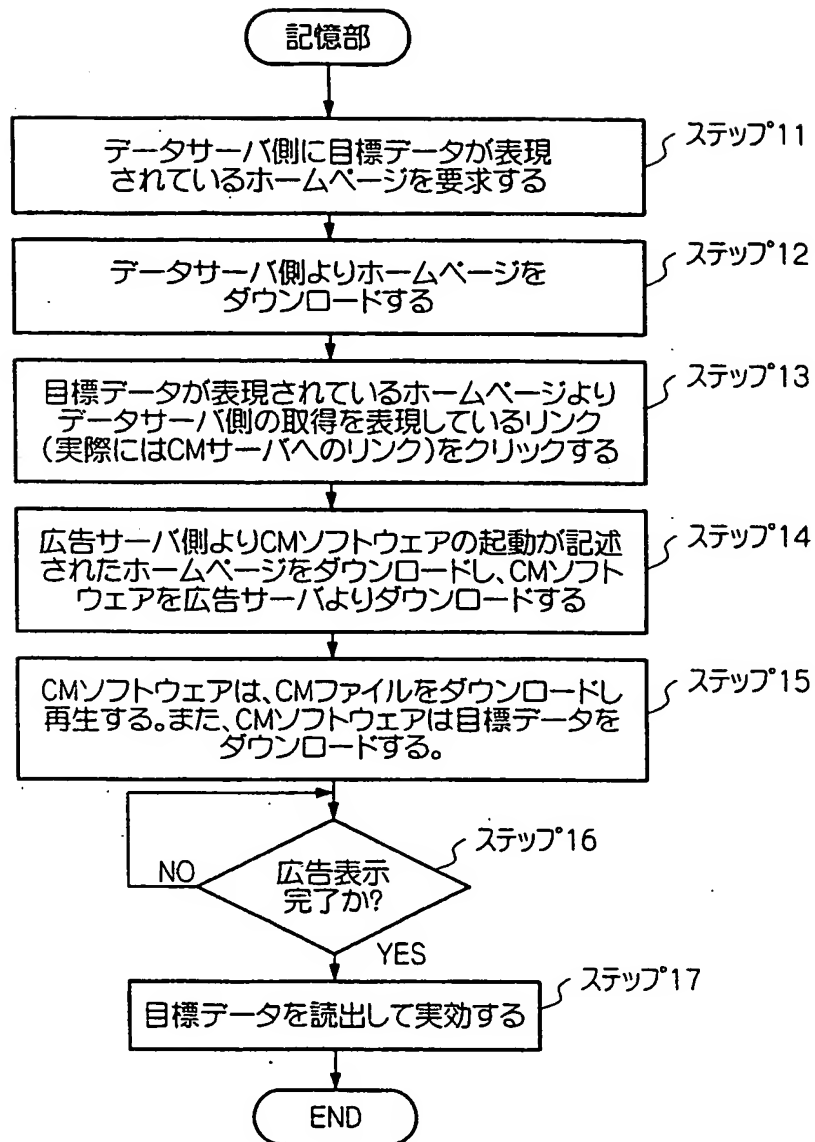
1/10

図 1



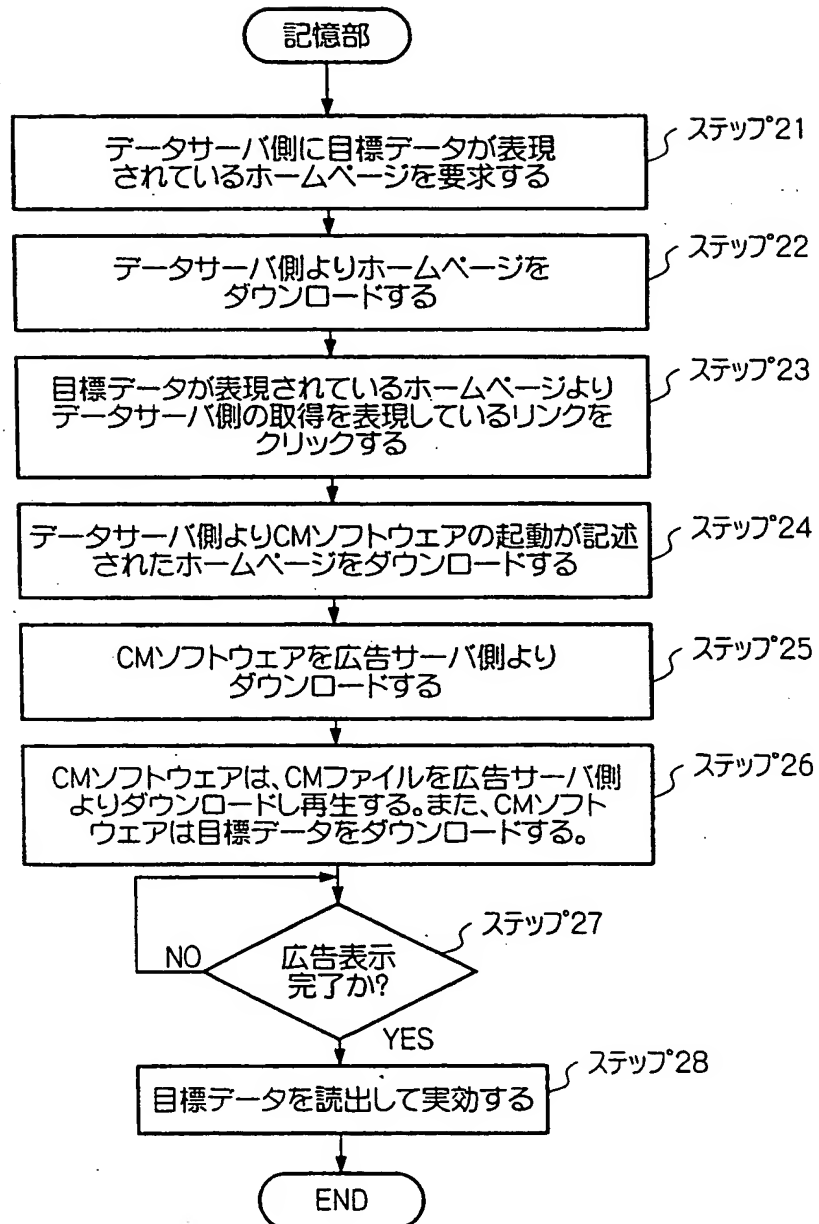
2/10

図2



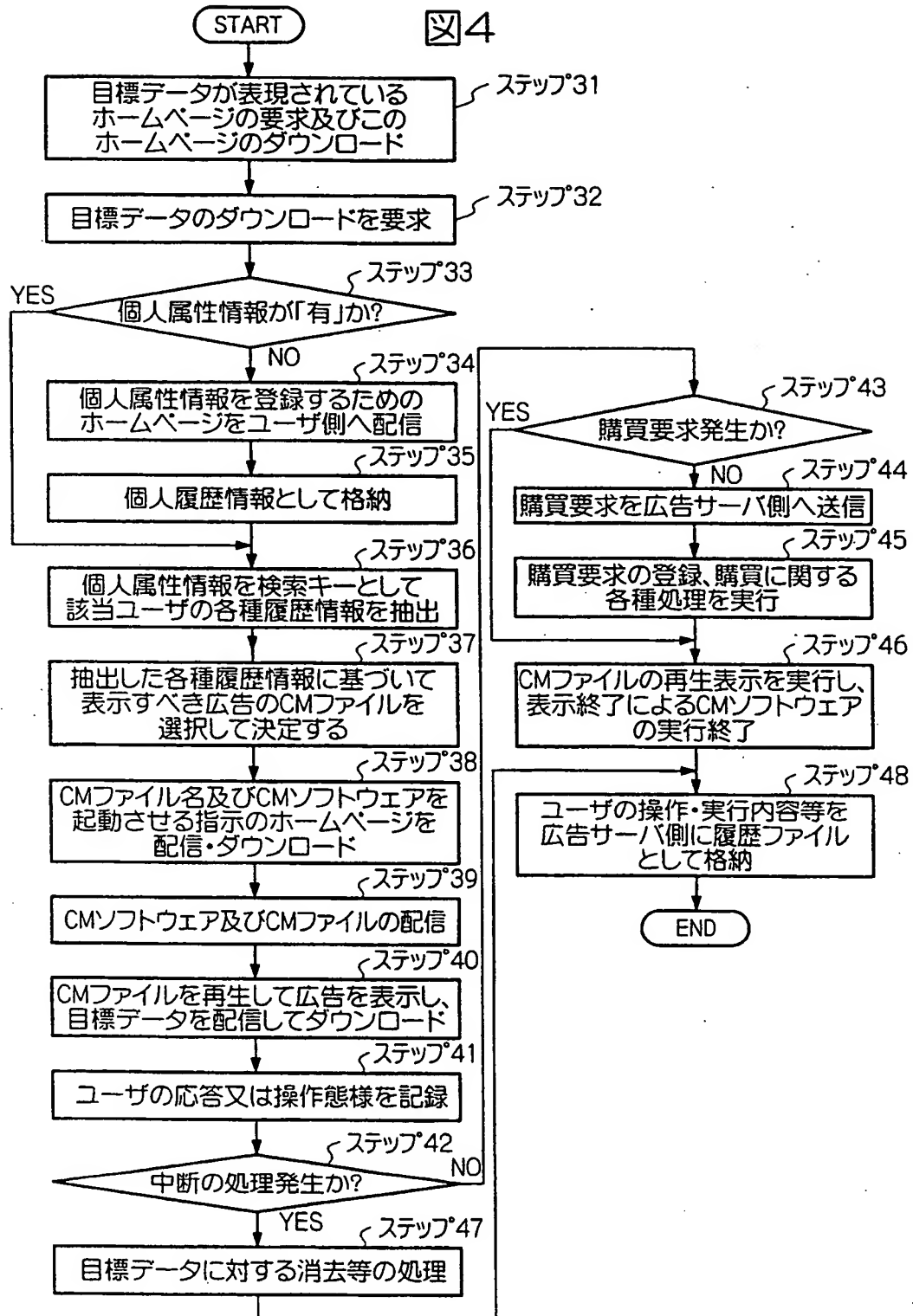
3/10

図3



4/10

図4



5/10

図5

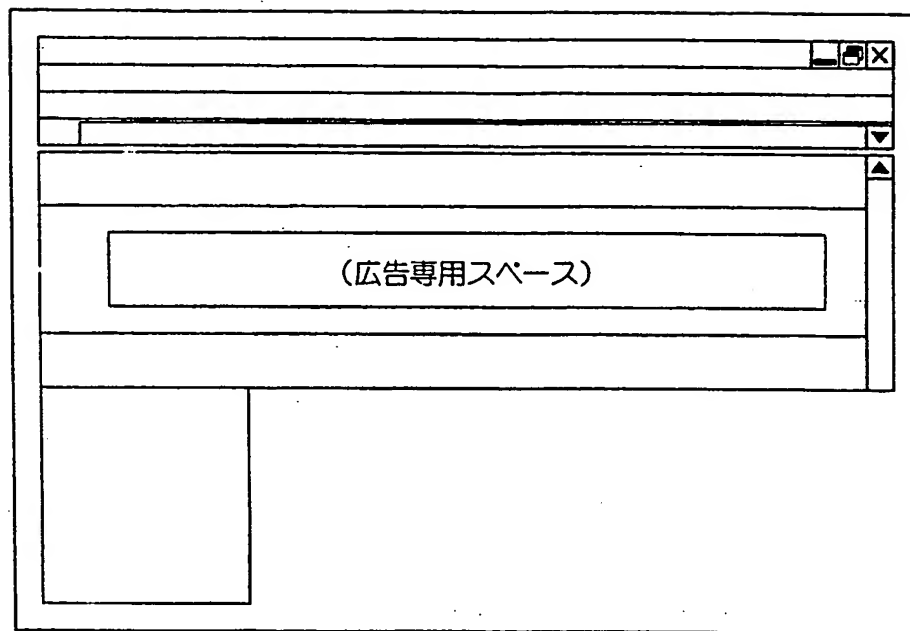
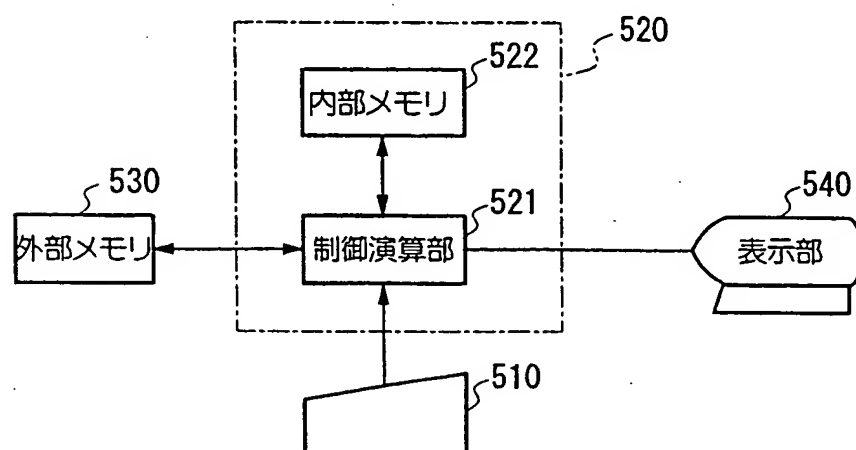
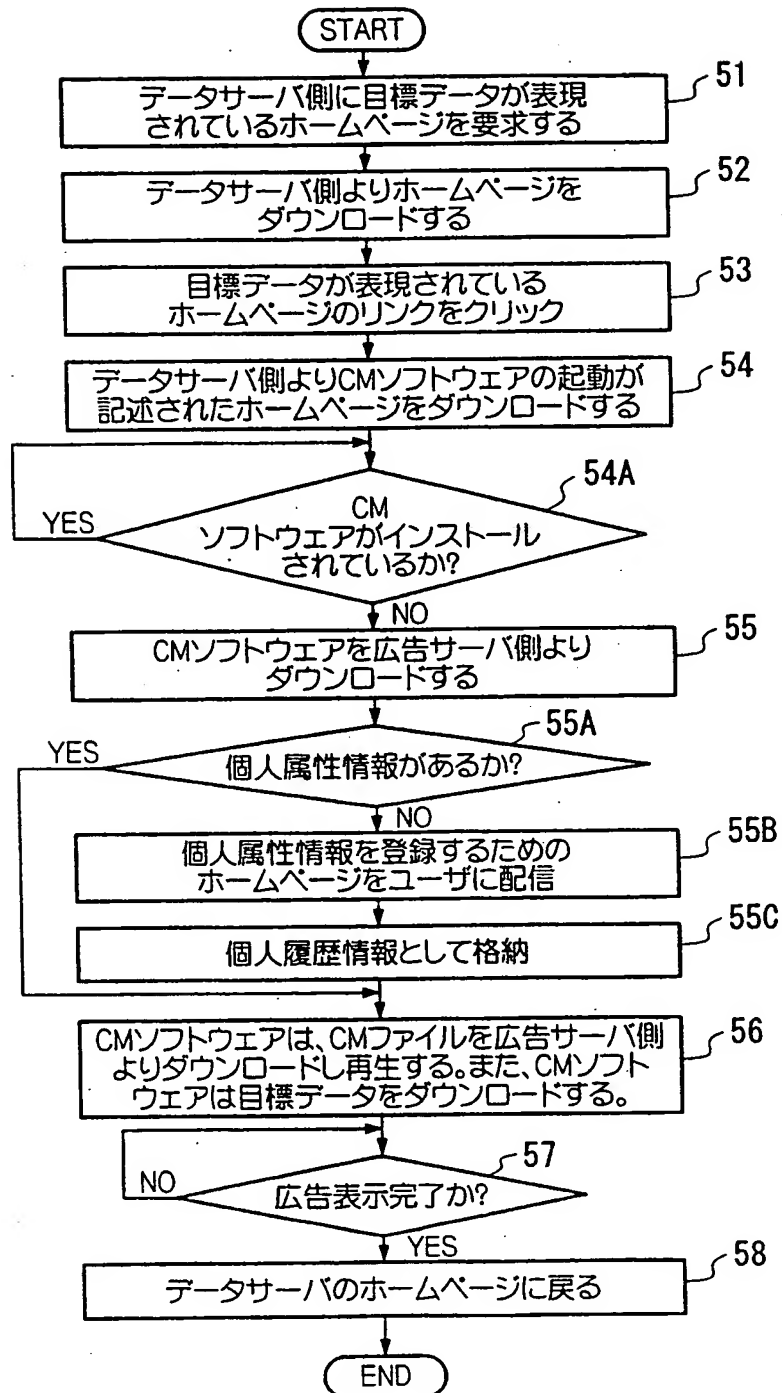


図6



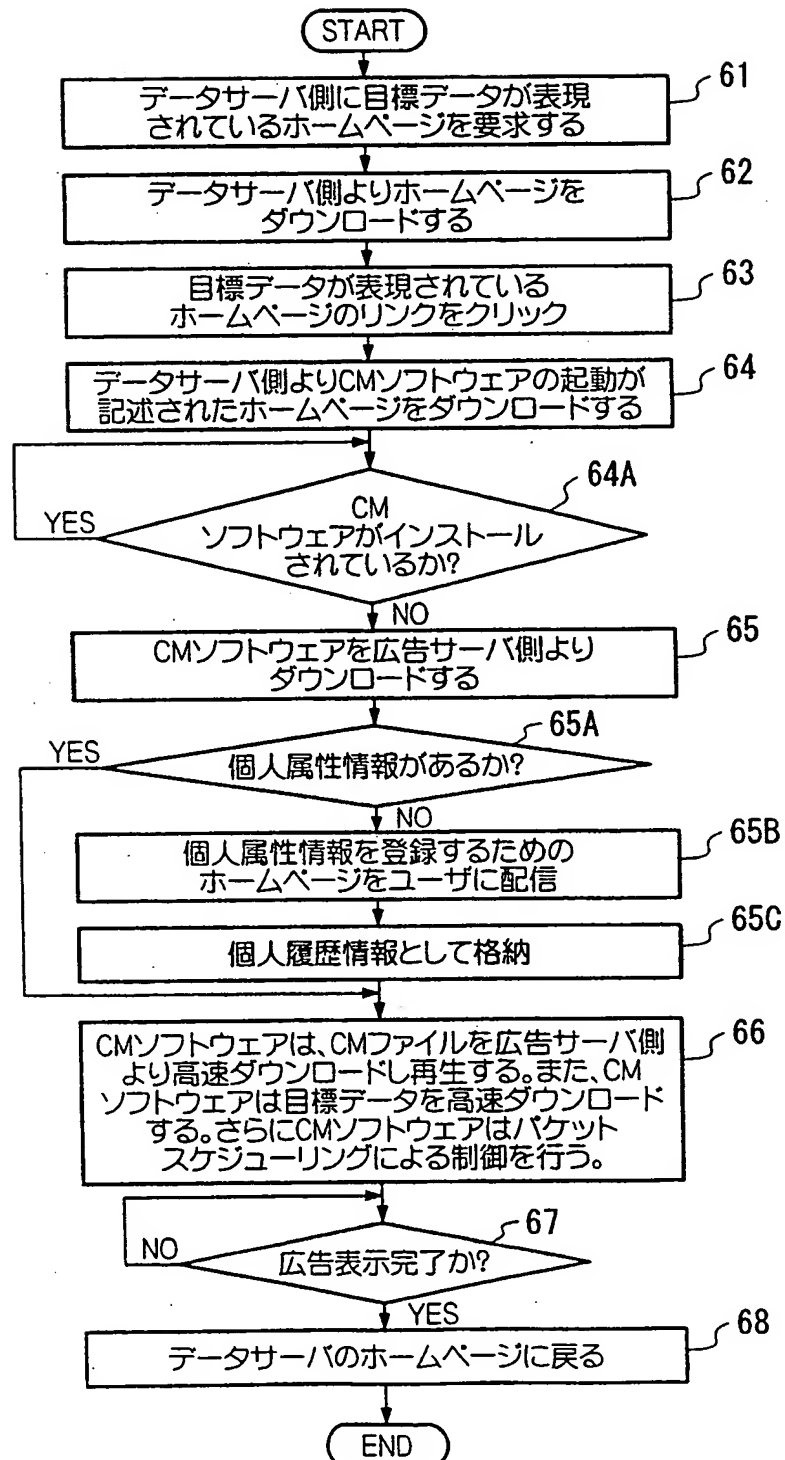
6/10

図7



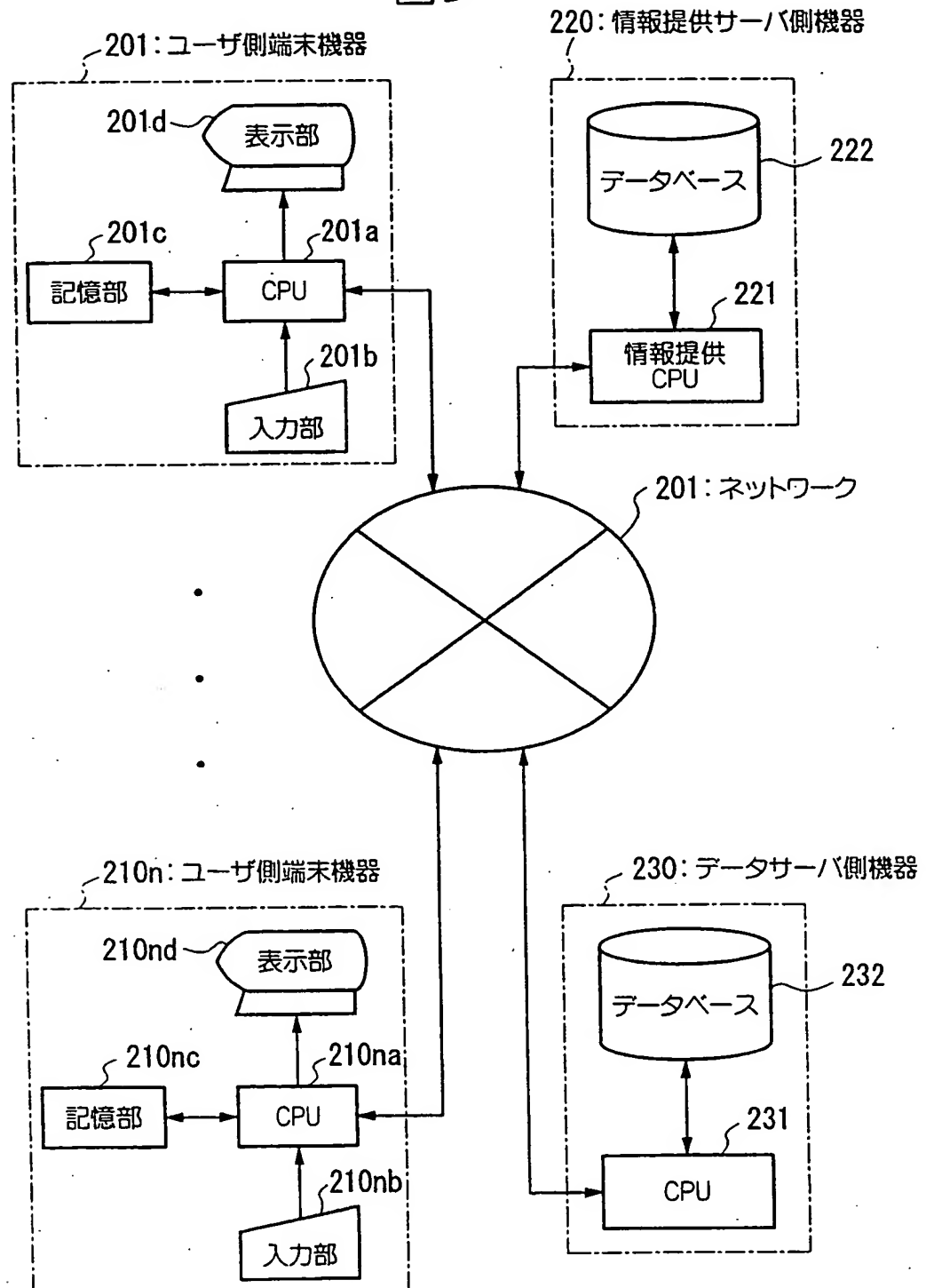
7/10

図8



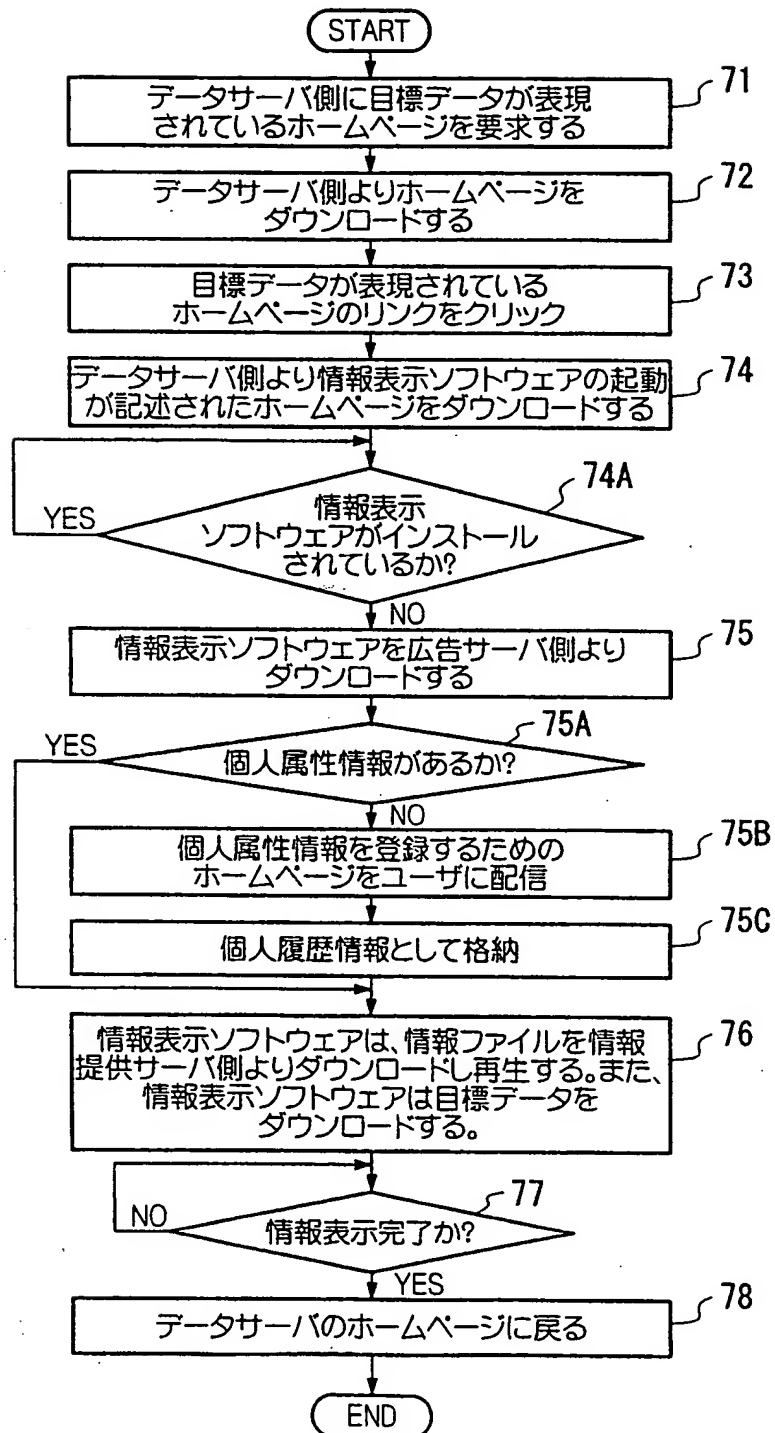
8/10

図9



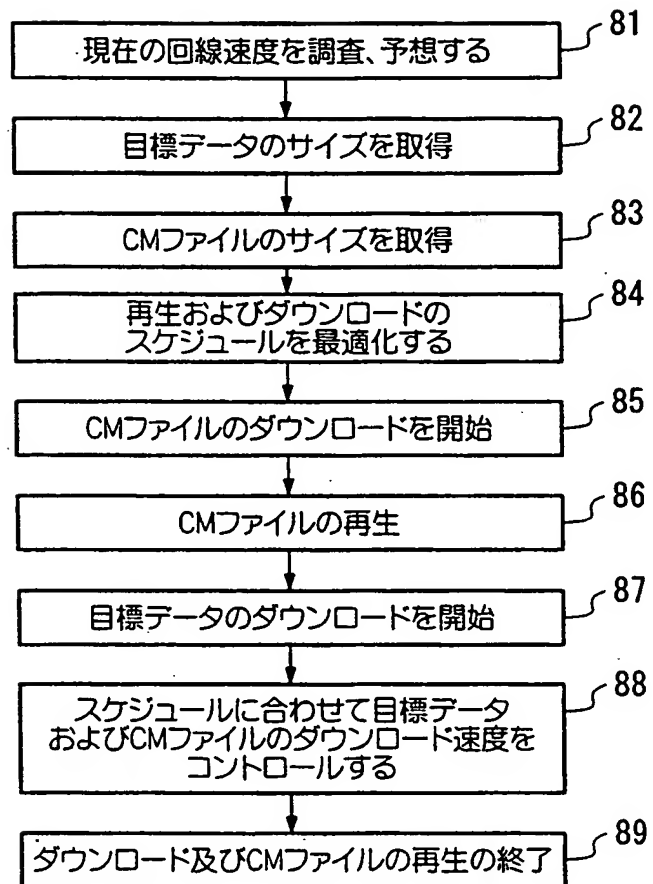
9/10

図10



10/10

図11



INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP01/02318

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER
Int.Cl⁷ G06F17/60

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)
Int.Cl⁷ G06F17/60, 17/30

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched
Jitsuyo Shinan Koho 1922-1996 Toroku Jitsuyo Shinan Koho 1994-2001
Kokai Jitsuyo Shinan Koho 1971-2001 Jitsuyo Shinan Toroku Koho 1996-2001

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)
JICST FILE (JOIS), INSPEC (DIALOG)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
X	EP, 875843, A1 (Adletts International, LLC), 04 November, 1998 (04.11.98) & JP, 10-320336, A & AU, 6078598, A	1-3, 8-11, 15, 17-21, 26-29, 33, 35-39, 44-47, 51, 53, 54
Y		4-7, 12-14, 16, 22-25, 30-32, 34, 40-43, 48-50, 52
X	JP, 11-3072, A (Sony Corporation), 06 January, 1999 (06.01.99) (Family: none)	1-3, 8-11, 15, 17-21, 26-29, 33, 35-39, 44-47, 51, 53, 54
Y		4-7, 12-14, 16, 22-25, 30-32, 34, 40-43, 48-50, 52

☒ Further documents are listed in the continuation of Box C. ☐ See patent family annex.

* Special categories of cited documents:
 "A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance
 "E" earlier document but published on or after the international filing date
 "L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)
 "O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means
 "P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed
 "T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention
 "X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone
 "Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art
 "&" document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search
11 June, 2001 (11.06.01)

Date of mailing of the international search report
19 June, 2001 (19.06.01)

Name and mailing address of the ISA/
Japanese Patent Office

Authorized officer

Facsimile No.

Telephone No.

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP01/02318

C (Continuation). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
X	JP, 9-325938, A (U Orugu System K.K.), 16 December, 1997 (16.12.97) (Family: none)	1-3, 8-11, 15, 17 -21, 26-29, 33, 35-39, 44-47, 51, 53, 54
Y		4-7, 12-14, 16, 22-25, 30-32, 34, 40-43, 48-50, 52
Y	JP, 2000-35966, A (Matsushita Electric Ind. Co., Ltd.), 02 February, 2000 (02.02.00) (Family: none)	4-7, 22-25, 40-43
Y	JP, 10-301946, A (Fujitsu Limited), 13 November, 1998 (13.11.98) (Family: none)	4-7, 22-25, 40-43
Y	JP, 10-187320, A (Naoyuki MIYAYAMA), 14 July, 1998 (14.07.98) (Family: none)	12-14, 30-32, 48-50
Y	JP, 10-177532, A (Access K.K.), 30 June, 1998 (30.06.98) (Family: none)	12-14, 30-32, 48-50
Y	JP, 10-40097, A (Toshiba Corporation), 13 February, 1998 (13.02.98) (Family: none)	16, 34, 52
A	JP, 9-244924, A (Xing K.K.), 19 September, 1997 (19.09.97) (Family: none)	16, 34, 52

国際調査報告

国際出願番号 PCT/JPO1/02318

A. 発明の属する分野の分類 (国際特許分類 (IPC))

Int. Cl⁷ G06F17/60

B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料 (国際特許分類 (IPC))

Int. Cl⁷ G06F17/60, 17/30

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報 1922-1996年
 日本国公開実用新案公報 1971-2001年
 日本国登録実用新案公報 1994-2001年
 日本国実用新案登録公報 1996-2001年

国際調査で使用した電子データベース (データベースの名称、調査に使用した用語)

JICSTファイル (JOIS), INSPEC (DIALOG)

C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
X	EP, 875843, A1 (Adletts International, LLC), 4. 11月. 1998 (04. 11. 98) & JP, 10-320336, A & AU, 6078598, A	1-3, 8-11, 15, 17-21, 26-29, 33, 35-39, 44- 47, 51, 53, 54
Y		4-7, 12-14, 16, 22-25, 30- 32, 34, 40-43, 48-50, 52

☒ C欄の続きにも文献が列挙されている。☐ パテントファミリーに関する別紙を参照。

* 引用文献のカテゴリー

「A」 特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの

「E」 国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの

「L」 優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献 (理由を付す)

「O」 口頭による開示、使用、展示等に言及する文献

「P」 国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献

「T」 国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの

「X」 特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの

「Y」 特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの

「&」 同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

11. 06. 01

国際調査報告の発送日

19.06.01

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁 (ISA/JP)

郵便番号 100-8915

東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官 (権限のある職員)

吉田 耕一



5L 9194

電話番号 03-3581-1101 内線 3560

C (続き) . 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
X	J P, 11-3072, A (ソニー株式会社), 6. 1月. 1999 (06. 01. 99) (ファミリーなし)	1-3, 8-11, 15, 17-21, 26-29, 33, 35-39, 44- 47, 51, 53, 54
Y		4-7, 12-14, 16, 22-25, 30- 32, 34, 40-43, 48-50, 52
X	J P, 9-325938, A (ユーオルグシステム株式会社), 16. 12月. 1997 (16. 12. 97) (ファミリーなし)	1-3, 8-11, 15, 17-21, 26-29, 33, 35-39, 44- 47, 51, 53, 54
Y		4-7, 12-14, 16, 22-25, 30- 32, 34, 40-43, 48-50, 52
Y	J P, 2000-35966, A (松下電器産業株式会社), 2. 2月. 2000 (02. 02. 00) (ファミリーなし)	4-7, 22-25, 40 -43
Y	J P, 10-301946, A (富士通株式会社), 13. 11月. 1998 (13. 11. 98) (ファミリーなし)	4-7, 22-25, 40 -43
Y	J P, 10-187320, A (宮山直之), 14. 7月. 1998 (14. 07. 98) (ファミリーなし)	12-14, 30-32, 48-50
Y	J P, 10-177532, A (株式会社アクセス), 30. 6月. 1998 (30. 06. 98) (ファミリーなし)	12-14, 30-32, 48-50
Y	J P, 10-40097, A (株式会社東芝), 13. 2月. 1998 (13. 02. 98) (ファミリーなし)	16, 34, 52
A	J P, 9-244924, A (株式会社エクシング), 19. 9. 1997 (19. 09. 97) (ファミリーなし)	16, 34, 52

This Page Blank (uspto)